

## 集落の維持・活性化に向けて

―平成23年度集落支援員  
キックオフ研修会―

市の全集落のうち、16集落が65歳以上の人口比50%以上の限界集落、94集落が55歳以上の人口比50%以上の準限界集落となっています。今後も過疎化や高齢化が進むことが予想されることから、「集落支援員」を設置し、集落の維持および活性化を図ります。集落支援員は、次の皆さんにお願いしています。

担当地区	氏名
園部地域	小寺 貞明
八木地域	徳見 晃
日吉地域	吉田 進
美山地域	中井 洋
美山地域	大東 豊

(順不同・敬称略)

### ▼集落支援員の主な活動

- ・集落の巡回、点検による課題の把握
- ・集落の維持、活性化のための助言や支援
- ・住民、行政、集落の連絡調整など



▲集落支援員キックオフ研修会の様子

9月27日、5人の委員をはじめ、府職員や市担当者など14人が参加し、初の研修会を市役所本庁で開催。市内における集落の現状紹介や今後の集落のあり方などについて意見交換が行われました。佐々木市長は「住民の主体性を尊重し、市民と行政のパイプ役としてご活躍をお願いしたい」とあいさつし、支援員の方は「集落独自の『声』を拾い上げることに尽力したい」と決意を述べられました。集落支援員の皆さんには、今年10月から集落点検、実態調査などを実施していただき、来年度から集落のあり方について話し合うなど、集落の維持、活性化を進めていただきます。

## つながり、互いに助け合い つながり、みんなで長生き

―ひとり暮らし高齢者の集い―

10月12日、南丹市国際交流会館で園部町民生児童委員協議会と、南丹市社会福祉協議会園部支所の共催で、「ひとり暮らし高齢者の集い」が開催。園部町に住む70歳以上の一人暮らしの方92人が参加。参加者は、ボランティアグループ「ぼぼたん」の歌に合わせて体操したり、民生児童委員協議会女性部のハーモニカ演奏に合わせて歌ったりする中で、普段話す機会がない人とも気さくに交流し、親睦を深めました。

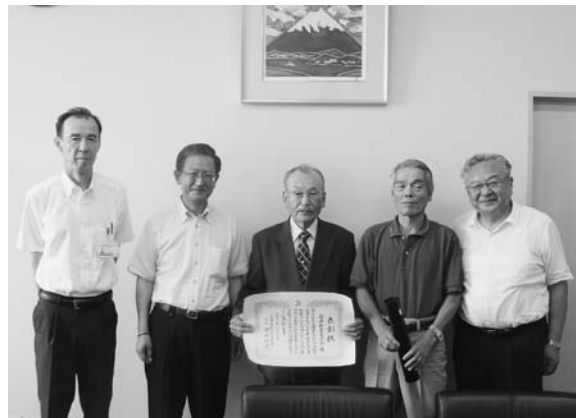


▲「ぼぼたん」の2人の歌に合わせて体を動かす参加者

## 自主的・継続的な活動を評価

―近畿ブロック林業グループ  
コンクール―

8月25日、林業グループコンクールに、「船井林業友の会」が京都府代表として参加され、最優秀賞を受賞。来年2月に東京で開催される全国コンクールに近畿ブロック代表として出場することを決められました。当団体は、林業技術の習得、林業経営の研究改善、特用林産物の生産などの普及啓発、林業所得の増大を図ることを目的に活動されており、コンクールでは、活動の自主性、継続性が高く評価されました。



▲受賞報告を行う今西肇会長（中央）と廣瀬博次副会長（中央右）